

ひばり学級「自立活動」学習指導案

日 時 12月12日 第4校時 11:35~12:20

場 所 つくば学園の森義務教育学校 ひばり学級

授業者 山口 禎恵

1. 単元名「海の生き物を守ろう」

2. 対象児童 3年生 3名

3. 児童の実態

今回授業を行ったひばり学級は、自分の感情をうまく伝えられなかったり、相手の気持ちを汲めずコミュニケーションがとりづらかったりする児童が在籍するクラスである。昨年度、VISCUITを活用したこともあり、ICTを活用した学習の経験はあった。障害特性ゆえ、他の子たちよりもできないことがあることで、自信をなくしてしまっていることが多いと感じている。「どうせ・・・」「できないから（失敗するから）やりたくない！」というような、失敗経験が先行してしまい自尊感情を下げ、新しい活動には消極的である。今回のような簡単な動画作りで自分たちのやったことをまとめ、多くの人たちに発信する活動を通して、「ぼくたち、私たちもこんなことができるんだ！」「もっと、ぼく（わたし）ができることを知ってほしい！」というように、自尊感情を高めたい。このような成功体験を多くすることで、他の学習など学校生活の色々なところで頑張ることのできる土壌づくりができたらと考えた。

4. 教材観

今回使用した「embot」は、ダンボール素材で容易に作成できるので、本学級の児童の特徴でもあるこだわりを細部まで表現できる適切な教材である。特にこだわりをもって、自身の世界観を表現したがる児童の多い中で、触れた感じなど五感に訴える刺激もあり、活動の動機づけに適している。児童は、グループ活動で embot を作成し動かす共同作業を通して、自立活動の「人間関係の育成」や「コミュニケーション」を高めることができる。また、動画撮影から視聴の過程で「心理的な安定」を試す場面が多々想定できる。プログラミングにおいては「アニメーション」の機能ブロックを活用することで、児童が意図したプログラムを再現できるし、意図した再現でなければ、容易に修正が可能なので「環境の把握」のトレーニングにもなりうる。また、これらの細かな作業は目と手の協応を活動

のねらいとして据えることもできるので、自立活動に適した教材と考えた。

5. 単元の指導目標

子どもたちの自尊感情を高める。

分別を間違えやすいごみを、周りの人にも知ってもらおう。

6. 単元計画（全6時間）

時間	単元の内容	目標
1	<ul style="list-style-type: none"> ・ 本日の流れをホワイトボードに記入（もしくは掲示）し説明する。（次回以降同じ） ・ ウォーミングアップとして、5分程度でできるミニゲームに取り組む。（次回以降同じ） ・ 自分が守りたい海の生き物について、どんな生き物がいるか付箋に書いていく。 	<p>プラスチックを分別する理由を知り、自分が守りたい海の生き物を見つけることができる。</p>
2	<ul style="list-style-type: none"> ・ 教師以外の人に来て、説明してくれることについて事前に確認する。 ・ 外部講師(市の出前講座:環境衛生課の方)にプラスチックごみの分別について説明してもらう。 ・ 事前に準備しておいたゴミを、グループに分かれて「プラスチックごみ」と「プラスチックごみではないもの(燃やせるごみ)」に分ける。 	<p>外部講師の話を聞いて、プラスチックごみの分け方を知ることができる。</p>
3	<ul style="list-style-type: none"> ・ VISCUITを使って、海のプラスチック汚染から守りたい生き物を描いて動かしていく。 ・ 事前にViscuitに全員分サインインしておく。 	<p>守りたい海の生き物たちをVISCUITで表現しよう。</p>
4	<ul style="list-style-type: none"> ・ embotを自由に組み立て、装飾をつける。 	<p>手順書に沿って、embotを組み立てることができる。</p>
5	<ul style="list-style-type: none"> ・ embotの操作について、PowerPointで作ったスライドを使って説明していく。 ※ 前時(単元4時間目)で簡単な操作までやっていると、この時間の活動がスムーズ。 	<p>embotに動きをつけることができる。</p>
6 (本時)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 完成イメージ動画を見せる。 ・ 前回組んだプログラムがを確認しながら、同じようにプログラムを組んでいく。 ・ 各自1分以内の動画を撮影する。 	<p>embotに自分の思うような動きをつけ、プラスチック分別の動画を作成する。</p>

7. 本時について

a 目標 embotに自分の思うような動きをつけ、プラスチック分別の動画を作成する。

b 展開

		指導上の留意点・評価
<p>1. あいさつ</p> <p>2. 本日の流れ説明</p> <p>3. ミニゲーム</p> <p>4. 説明・活動</p> <p>5. 動画撮影</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 見通しがもてないと不安になる子たちもいるので、本日の流れをホワイトボードに記入(もしくは掲示)する。 ● ウォーミングアップとして5分程度でできるミニゲームに取り組む。 ● 完成イメージ動画を見せる。 ● 前回組んだプログラムを確認はしたながら同じようにプログラムを組んでいく ● 各自が【Flipgrid】を使って1分以内の動画を撮っていく。 ● 背景(フェルト)の色、プラスチックごみに関しては、自分で選べるよういくつか準備する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>△スプーン △汚れたプラスチック (歯磨き粉のチューブ) △CD △ハンガー △歯ブラシ △プチプチ ○錠剤の入れ物 ○レジ袋 ○アルミ箔付きプラスチック (お菓子の袋)</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> ● 動画撮影の場所をいくつか確保 	<p>指導上の留意点・評価</p> <p>★勝ち負けにこだわる子がいるときは、運によって左右されるゲームを取り入れる。負けた場合、「今日は運が悪かったね」と声かけ。</p> <p>★embotの手を無理やり回さないように、【気をつけのしせい】(腕が90°真上)になるように常に意識できるようにしていく。 → 視覚支援</p> <p>★サポートする教師は、手を出しすぎない。子どもに試行錯誤する時間を与える。 (子どもによっては、</p>

<p>6. あいさつ</p>	<p>する。(教室内だけだと周りの声が入ってしまうので廊下なども含めて何箇所か用意する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 次回の確認をして、おしまいのあいさつをする。 	<p>ある程度ヒントを視覚的に与える。)</p>
----------------	-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	--------------------------

- c 評価
- ・ embotに自分の思うような動きをつけ、プラスチック分別の動画を作成する。
 - グループで教え合ったり譲り合ったりして、協力して作業を進めることができたか。(活動の様子の観察)

8. 準備物

- a. ミニゲーム

- b. PowerPointスライド
- c. PC（人数分）
- d. 電子黒板
- e. embot（インターネット環境は不要）